

Hiraya Walking MAP

京都府南丹市美山町

平屋 ウォーキングマップ

～上平屋・下平屋編～



約3
時間

6.5
km

平屋筆筒の碑



公德碑には「北桑筆筒創業頌徳碑 明治四十二年一月建立」とある。当時、上平屋は10件以上の筆筒に携わる職人がいたが、大正11年4月29日の大火により多くの棟が焼け衰退した。しかし、昭和30年頃まで細々と伝統は続き、昭和40年頃までは各家庭の庭には桐の木が育っていた。

旧平屋国民学校跡地



旧平屋済美小学校は明治6年開校。昭和16年、国民学校令により平屋尋常高等小学校から平屋国民学校となる。同年12月に二宮金次郎銅像の供出により、脱魂式を行う。昭和33年に内久保分校が開校となり、その際に校舎移転をして安掛に移るまで、この地(上平屋)で教育を行った。

西乗寺



真言宗から、1551(天文20)年、僧祐道の開基で浄土真宗(大谷派)

となった、総檜作りの寺院。本堂の建立時期は江戸時代末期から明治にかけてと思われる。境内の阿弥陀堂には阿弥陀如来および両脇侍座像の三尊佛が安置されていて、昭和2年に国宝に指定された。昭和25年に国指定の重要文化財となる。三尊佛は、かつては奈良の地より戦乱や火難を逃れて転々としたあと西乗寺に移され、大正の初めに阿弥陀堂が建立され安置。数々の火難を逃れてきたことから、火伏せの仏様としても知られている。

小林家住宅



*住居であるため非公開/見学は要予約

江戸時代末期、野々村庄33ヶ村の大庄屋をつとめた豪農の居宅。1816(文化13)年に建てられたことが記録されている。主屋、小屋、土蔵、露地門、塀などが一体となって残っている大変貴重な建築である。また露地門内の庭には、奥側が頭になるよう組まれた亀の石組みがある。昭和50年に国指定の重要文化財となった。

山内木材加工所



平成元年創業。伏見稲荷大社に奉納する大小合わせて6千~7千基の白木の鳥居を製作している。稲荷山に荷揚げをする人足は強力(ごうりき)と呼ばれ、もともとは地元伏見や山科のお百姓さんが携わっていたが、近年、人手不足により、その他の地域(美山や福知山など)からご縁によって奉納されることとなった。

芝桜の道



平成30年11月に地域の住民たちが、地域を元気にしようと、北桑田高校美山分校そばの農道のり面の全長約100m幅約4mに千ポットの芝桜の苗を植えた。今後も数年かけ、いろいろな色の芝桜を国道162号から見渡せる一帯の農道や市道のり面に植えていく予定。新たな観光名所の誕生が期待される。

